

農林水産省農村振興局長賞

奈良県 あすかむら 明日香村 景観ボランティア明日香と（財）明日香村地域振興公社

古代ロマンに浸り いい汗かこう 景観保全

古代史の舞台となった奈良県明日香村の景観を修復・保全することを目的に、内外のボランティアが2泊3日間泊まり込みで作業する国際作業キャンプ（ワーキングホリデー）や、日帰り活動等の里山再生活動などを実施し、この10年間に主に飛鳥川沿いの6集落で計21カ所の景観を修復・保全した。参加者は延べ人数で2300人。活動は、景観ボランティア飛鳥と（財）明日香村地域振興公社が共催し、作業現場となった集落が協力する、「ボランティア・村・集落」の3者による「協働作業方式」が定着した。

景観の修復・保全作業は、荒廃里山林や放置竹林の伐採・剪定・処理など森林作業、造園、植林、河川の清掃・整備、廃屋の解体・撤去など、実に多岐にわたる。しかも専門技術が求められるため、参加者の中から専門能力をもつ人を選抜して技術指導チームを組織し、このチームの指導によって一般参加者もかなり高度の作業を手がけるなど、古都飛鳥京の景観保全に貢献したという達成感を抱いてもらうようにしている。

この国際作業キャンプを実施した結果、作業に協力したほとんどの集落に自発的にメンテナンス組織ができており、国際作業キャンプを実施するごとに、村内には景観保全の仕組みが広がってきている。



石舞台古墳と明日香村



荒廃竹林でのボランティアによる伐採作業